

介護職員初任者研修課程 情報公開

☆法人情報☆

株式会社 A-station 540-0012 大阪市中央区谷町 2-2-22NS ビル 4 階

代表取締役 奥村真弘 取締役 SUKMA PRABAYA

常勤職員 5 名

☆研修期間情報☆

1 ヶ月ごと

☆研修施設、設備☆

介研リサーチパーク 大阪市阿倍野区旭町 1-5-45 ココファン阿倍野 2F (別添 2-6)

☆理念・学則・受講対象・受講までの流れ・費用・課程編集責任者☆ (別添 2-1)

☆留意事項、特徴、受講者へのメッセージ☆

下記に該当するものは事業者の判断により当該受講者の受講を取り消します。

受講を取り消されたものは、その間履修した当該研修については全て無効となります。

1. 学習意欲に著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
2. 学習態度が著しく悪くカリキュラムの進行を妨げる者
3. 自力で演習内容を行うことのできない者
4. その他、事業者が不適当とみなした者

《特徴、受講者へのメッセージ》

弊社は登録支援機関として外国人材をサポートする中で培ったノウハウを活かし、

外国人材が今後日本の介護業界で活躍していくための知識スキルを提供していきます。

日本の介護業界で今後働いていくために必ず役に立つ実習カリキュラムとなっています。

☆研修スケジュール☆ (別添 3)

☆定員：20 名 指導者数：9 名☆

☆科目別シラバス・科目別特徴☆ (別添 2-2)

☆科目別担当教官名☆ (別添 2-3)

☆科目別通信・事前・事後学習とする内容及び時間☆ (別添 2-10)

☆修了評価の方法、評価者、再履修等の基準☆ (別添 2-9)

☆講師情報☆ (別添 2-3)

申し込み・資料請求先：株式会社 A-station 事務長 マリアーリ真央 06-6966-1500

法人の苦情対応：株式会社 A-station 代表取締役 奥村真弘 06-6966-1500

事業所の苦情対応：株式会社 A-station 事務長 マリアーリ真央 06-6966-1500

(別添 2 - 1)

学 則

① 商号又は名称	株式会社 A-station
② 研修事業の名称	株式会社 A-station 介護職員初任者研修講座
③ 研修の種類	介護保険法施行令に基づく介護員養成研修 (介護職員初任者研修課程)
④ 研修課程及び 学習形式	介護職員初任者研修課程 ・ 通信形式
⑤ 事業者指定番号	301
⑥ 開講の目的	介護に従事しようとする者を対象とした基礎的な養成研修として、 介護に携わるものが業務を遂行する上で求められる専門的な人間性 の研鑽に加え、基本的な知識・技術を習得するための研修を行うこ とを目的とする。
⑦ 講義・演習室 (住所も記載)	介研リサーチパーク 大阪市阿倍野区旭町 1-5-45 ココファン阿倍野 2F
⑧ 実習施設	① 実施しない 2 実施する (実習施設一覧表 (別添 2 - 7) を参照。)
⑨ 講師の氏名及び 担当科目	講師一覧表 (別添 2 - 3) を参照。
⑩ 使用テキスト	「介護職員初任者研修テキスト総ルビ版 1.2」(ココファンブックス) (10)②については OJT 実例資料
⑪ シラバス	シラバス (別添 2 - 2) を参照。
⑫ 受講資格	受講対象者は介護に従事することを希望し、受講開始日に満 16 歳 以上の心身ともに健康なもの。受講定員は 20 名とする。
⑬ 広告の方法	株式会社 A-stationHP 上、ダイレクトメール、セミナー上、SNS 上で募集を行う。
⑭ 情報開示の方法	下記ホームページにおいて情報開示する。 ホームページアドレス : https://www.a-station.jp/

<p>⑮受講手続き及び本人確認の方法 (応募者多数の場合の対応方法を含む)</p>	<p>【法人が申込みの場合】</p> <p>① 当社指定のWebの申込フォームに必要事項を記入・入力し、受講を申し込む。但し、定員に達した場合は受付終了とする。</p> <p>② 当社は申込内容を確認後、受講料等支払いのための書類を法人宛にメールする。</p> <p>③ 法人は指定の期日までに受講料等を納入する。</p> <p>④ 受講料金振込みの確認をもって受講申込手続き完了とする。</p> <p>【個人が申込みの場合】</p> <p>① 当社指定のWebの申込フォームに必要事項を記入・入力し、受講を申し込む。但し、定員に達した場合は受付終了とする。</p> <p>② 当社は申込内容を確認後、受講料等支払いのための書類を申込者宛にメールする。</p> <p>③ 申込者は指定の期日までに受講料等を納入する。</p> <p>④ 受講料金振込みの確認をもって受講申込手続き完了とする。</p> <p>申し込みの際と、初回オリエンテーション時に、本人確認の書類として以下のどれかを提示すること。</p> <p>① 戸籍謄本、戸籍抄本若しくは住民票 ② 住民基本台帳カード ③ 在留カード等 ④ 健康保険証 ⑤ 運転免許証 ⑥ パスポート ⑦ 年金手帳 ⑧ 運転免許以外の国家資格を有するものについては、その免許証又は登録証</p>
<p>⑯受講料及び受講料支払方法</p>	<p>定価：85,800 円 (テキスト代込、税込)</p> <p>※会員割引あり</p> <p>支払い方法：銀行振込</p> <p>りそな銀行 大手支店 普通 0113500 口座名義： カ) エーステーション</p>
<p>⑰解約条件及び返金の有無</p>	<p>受講申込手続き完了後の解約については、以下の期間内において解約申出を受ける。</p> <p>解約清算については以下のとおり。返金は銀行振込のみとし、振込手数料は受講者負担とする。</p> <p>① 開講前日までの電話と文章両方による解約申出があれば全額返金。ただし手数料は申込人の負担とする。</p> <p>② 受講開始日以降であれば、原則、受講料を全額納入とし、返還は行わない。</p> <p>③ 応募者が1名に満たなかった場合、開講キャンセルとし、全額が返金される。</p>

⑮受講者の個人情報 の取扱	個人情報保護規程策定の有無（有） なお、修了者は大阪府の管理する修了者名簿に記載される。
⑯研修修了の認定 方法	認定方法：修了を認定した者には修了証明書を交付する。 研修の修了年限：1カ月 修了評価方法：（別添2－9）を参照。 修了評価筆記試験不合格時の取扱い： 担当講師による補習のうえ、再評価を実施する。 （補習費用：税込4,400円、再評価費用：税込4,400円） したがって、再再評価の結果、不合格となった者は未修了扱いとなるため注意すること。再評価は2回までとする。
⑰補講の方法及び 取扱	補講の方法：研修期間内での補講を受けることにより当該科目に出席したものとみなす。 補講に要する費用：税込4400円/回
⑱科目免除の取扱	大阪府介護職員初任者研修実施要領の規定のとおり取り扱う。ただし、受講料の減免措置はない。
⑳受講中の事故等 についての対応	必要な場合は適宜病院への搬送、緊急連絡先への連絡を行う。 受講者の不注意による事故と判断された場合は、原則自己責任とする。
㉑研修責任者名、所 属名及び役職	氏名：奥村 真弘 所属名：株式会社 A-station 役職：代表取締役
㉒課程編成責任者 名、所属名及び役 職	氏名：スクマ プラバヤ 所属名：株式会社 A-station 役職：取締役
㉓苦情等相談担当 者名、所属名、役 職及び連絡先	氏名：マリアーリ 真央 所属名：株式会社 A-station 役職：事務長 連絡先：06-6966-1500
㉔研修事務担当者 名、所属名及び連 絡先	氏名：マリアーリ 真央 所属名：株式会社 A-station 役職：事務長
㉕情報開示責任者 名、所属名、役職 及び連絡先	氏名：マリアーリ 真央 所属名：株式会社 A-station 役職：事務長 連絡先：06-6966-1500
㉖修了証明書を亡 失・き損した場合の 取扱い	「養成研修修了証明書等の亡失・き損時の取り扱いに関する要領」 に基づき証明書を交付する。 ・証明書交付に係る費用：1,100円（税込）

<p>㊼ その他必要な事項</p>	<p>いかなる理由でも、早退遅刻は欠席とみなす。</p> <p>人道に反する行為が見られた場合は、やむなく退校処分とする場合もある。</p> <p>下記に該当するものは事業者の判断により当該受講者の受講を取り消します。</p> <p>受講を取り消されたものは、その間履修した当該研修については全て無効となります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.学習意欲に著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者 2.学習態度が著しく悪くカリキュラムの進行を妨げる者 3.自力で演習内容を行うことのできない者 4.その他、事業者が不適当とみなした者
-------------------	---

<p>※1 大阪府からのお知らせ</p>	<p>大阪府介護職員初任者研修事業実施要領第2の2（1）より抜粋</p> <p>【内容及び手続きの説明及び同意】</p> <p>事業者は、受講の受付に際し、受講希望者に対し受講するために必要な費用等を明記した学則の内容及び研修を受講する上での重要な事項等を記載した書面等を配布するとともに、その説明を行い、かつ、あらかじめ受講希望者の同意を得なければならない。</p>
----------------------	---

<p>※2 研修事業者の指定担当</p>	<p>大阪府 福祉部 地域福祉推進室</p> <p>福祉人材・法人指導課 人材確保グループ</p> <p>電話：06-6944-9165</p>
----------------------	--

シラバス

指定番号 301

商号又は名称：株式会社 A-station

科目番号・科目名	(1) 職務の理解 (6 時間)			
指導目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的なイメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① 多様なサービスの理解	1	1	0	【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険による居宅サービス ・介護保険による施設サービス ・介護保険外のサービス 【学習のポイント】 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険による居宅サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。 ・介護保険による施設サービスの種類と、サービスが提供される場の特性を理解する。 ・介護保険外のサービスの種類と、サービスが提供される意義や目的を理解する。
② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	5	5	0	【講義内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する。 ・ケアマネジメントを通じて、介護サービス提供にいたるまでの流れを理解する。 ・チームアプローチの必要性和、具体的な連携方法を理解する。
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	学研オリジナルテキスト 1 巻 1 章 1 節、2 節
------------	-----------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援（9 時間）			
指導目標	介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①人権と尊厳を支える介護	4	3	1	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権と尊厳の保持 ・ I C F ・ Q O L ・ノーマライゼーション ・虐待防止・身体拘束禁止 <p>介護職に求められる権利擁護の視点や尊厳保持の実践に欠かさないキーワードを踏まえ、その人らしい生活を送ることができるよう、どのような配慮が必要か、どのような事をされたくないか等、自分が要介護者になった場合を想定し、私たちが提供するべき介護について検討する。</p> <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尊厳の保持 ・ノーマライゼーションの理念 ・虐待の特徴や実態
②自立に向けた介護	3	2	1	<p>【講義内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援 ・介護予防 <p>どのような視点で介護をしたり接することが、利用者の自立支援・重度化防止・介護予防につながるかイメージしやすいように具体的な事例を活用し、介護を行う際にどのような注意が必要かなどのポイントを押さえる。</p> <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の考え方 ・廃用症候群
③人権啓発に係る基礎知識	2	2	0	<p>人権啓発に係る、幅広い事項を人権擁護士による講義形式にて受講。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、人権について 2、人権の取り組みについて 3、身近な人権について
(合計時間数)	9	7	2	

使用する機器・備品等	学研オリジナルテキスト 1 巻 2 章 1、2 節
------------	---------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(3) 介護の基本 (6時間)			
指導目標	・介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解している。 ・介護を必要としている人の個別性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援を捉える事ができる。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護職の役割、専門性と多職種との連携	2	1	1	【講義内容】 (1) 介護環境の特徴の理解 訪問介護と施設介護サービスの違い、地域包括ケアの方向性 (2) 介護の専門性 ・重度化防止・遅延化の視点 ・利用者主体の支援姿勢 ・自立した生活を支えるための援助 ・根拠のある介護 ・チームケアの重要性 (3) 介護に関わる職種 ・異なる専門性を持つ多職種の理解 (介護支援専門員、○サービス提供責任者等) ・看護師等とチームとなり利用者を支える意味 ・互いの専門職能力を活用した効果的なサービスの提供 ・チームケアにおける役割分担 【通信学習課題の内容】 ・他職種連携の理解、異なる専門性をもつ職種の理解 ・介護の専門性
②介護職の職業倫理	1	0.5	0.5	【講義内容】 ・専門職の倫理の意義 ・介護福祉士の倫理 ・介護職がもつべき職業倫理を学ぶ。 ・日本介護福祉士会倫理綱領を参考に介護職にかかわる倫理綱領を理解する。 【通信学習課題の内容】 ・専門職の倫理の意義 ・介護職に求められる法的規定 ・介護職に求められる行動規範 ・日本介護福祉士会倫理綱領
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	1.5	0.5	1	【講義内容】 1、介護における安全の確保 2、事故予防、安全対策 3、感染対策 ・利用者の生活を守る技術としてのリスクマネジメントの視点を学ぶ。 ・利用者を取り巻く介護チームで安全な生活を守るしくみについて学ぶ。 【通信学習課題の内容】 ・介護における安全の確保 ・リスクマネジメントの必要性 ・生活の場での感染対策
④介護職の安全	1.5	1	0.5	【講義内容】 1、介護職の心身の健康管理 2、感染予防 ・介護の特徴をふまえて、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ。 ・介護職に起こりやすいところとからだの病気や障がいについて学ぶ。 ・介護職自身の健康管理の方法 (病気や障がいの予防と対策)について学ぶ。 【通信学習課題の内容】 ・介護職のこころとからだの健康管理 ・ストレス、燃え尽き症候群

				・介護者の感染予防
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	学研オリジナルテキスト1巻3章1－3節			
------------	---------------------	--	--	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 (9 時間)			
指導目標	介護保険制度や障がい福祉制度を担う一員として、最低限知っておくべき制度の目的・サービス利用の流れ・各専門職の役割や責務について、その概要のポイントを習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護保険制度	4	2	2	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、介護保険制度創設の背景及び目的・動向 2、介護保険制度のしくみの基礎的理解 3、制度を支える財源、組織、団体の機能と役割 <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度が創設された背景を理解したうえで、制度の目的と動向について学ぶ。 ・介護保険制度の基本的なしくみを理解する。 ・介護保険制度にかかわる組織とその役割を理解するとともに、制度の財政について学ぶ。 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景 ・介護保険制度の基本理念 ・介護保険制度の改正の内容 ・保険者と被保険者 ・給付の対象者 ・要介護認定等の流れ ・ケアマネジメントの流れ ・保険給付の種類と内容
②医療との連携とリハビリテーション	2	1	1	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、医療行為と介護 2、訪問看護 3、施設における看護と介護の役割・連携 4、リハビリテーション <ul style="list-style-type: none"> ・介護職と医療行為の実情と経過について理解する。 ・在宅および施設における介護職と看護職の役割・連携について理解する。 ・リハビリテーションの理念と考え方について理解する。 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療行為と原則に医療行為ではない行為 ・訪問看護 ・介護職と看護職の専門性と連携のポイントと必要性
③障がい者総合支援制度およびその他制度	3	1	2	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、障がい者福祉制度の概念 2、障がい者福祉制度のしくみの基礎的理解 3、個人の人権を守る制度の概要 <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者福祉制度における障がいの概念について、その歩みをふまえて学ぶ。 ・障がい者福祉制度の基本的なしくみについて理解する。 <p>【通信学習課題の内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者総合支援法で提供されるサービスや手続き ・障がい者総合支援法の基本概念 ・個人情報保護
(合計時間数)	9	4	5	

使用する機器・備品等	学研オリジナルテキスト 1 巻 4 章 1 節～3 節
------------	-----------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(5) 介護におけるコミュニケーション技術 (6 時間)			
指導目標	高齢者や障がい者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを図ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき（取るべきでない）行動例を理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護におけるコミュニケーション	4	4	0	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、コミュニケーションの意義・目的・役割 2、コミュニケーションの技法 3、利用者・家族とのコミュニケーションの実際 4、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際 <p>・対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。</p> <p>・介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する。</p> <p>・事例を通して、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際を理解する。</p> <p>【演習内容】</p> <p>コミュニケーションの技法を伝えた上で、利用者の状況に応じて意図的にコミュニケーションを取る方法を、バ이스ティックの7原則を意識しながら体験する。</p>
②介護におけるチームのコミュニケーション	2	2	0	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、記録における情報の共有化 2、報告・連絡・相談 3、コミュニケーションをうながす環境 <p>・介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学ぶ。</p> <p>・チームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ。</p> <p>・会議の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学ぶ。</p>
(合計時間数)	6	6	0	

使用する機器・備品等	学研オリジナルテキスト1巻5章1節、2節
------------	----------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(6) 老化の理解 (6 時間)			
指導目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①老化に伴うところとからだの変化と日常	3	1.5	1.5	【講義内容】 1、老年期の定義 2、老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴 3、老化に伴う心身機能の変化と日常生活への影響 ・老年期や高齢者の定義について理解する。 ・老化が影響を及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。 ・老化とともに社会的環境が心理や行動に与える影響について理解する。 ・多くの側面にわたる身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。 【通信学習課題の内容】 ・身体的機能の変化と日常生活への影響
②高齢者と健康	3	1.5	1.5	【講義内容】 1、高齢者の症状・疾患の特徴 2、高齢者の疾病と日常生活上の留意点 3、高齢者に多い病気と日常生活上の留意点。 ・高齢者の多くにみられる症状や訴えがどのような疾病から起こるかなど、その特徴について理解する。 ・高齢者に多い病気の原因や特徴、その病気をかかえる高齢者の生活上の留意点について理解する 【通信学習課題の内容】 ・高齢者の症状・疾患 ・骨折、狭心症などの疾患
(合計時間数)	6	3	3	

使用する機器・備品等	学研オリジナルテキスト 1 巻 6 章 1 節、2 節
------------	-----------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(7) 認知症の理解 (6 時間)			
指導目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解している。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①認知症を取り巻く状況	1	1	0	【講義内容】 1、認知症ケアの理念 2、認知症ケアの視点 ・「認知症を中心としたケア」から、「その人を中心としたケア」に転換することの意義を理解する。 ・問題視するのではなく、人として接することを理解する。 ・できないことではなく、できることをみて支援することを理解する。
②医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	2	1	1	【講義内容】 1、認知症とは 2、認知症の診断 3、認知症の原因疾患とその病態 4、認知症の治療と予防 ・老化のしくみと脳の変化を学び、認知症の原因を理解する。 ・認知症に類似した症状をもつ疾病について学ぶ。 ・アルツハイマー型認知症、血管性認知症をはじめとした認知症のおもな原因疾患の病態、症状について学ぶ。 【通信学習課題の内容】 ・認知症とは ・記憶と認知症の記憶障がい ・若年認知症について ・認知症の症状
③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	2	1	1	【講義内容】 1、認知症の人の生活障がい、心理・行動の特徴 2、認知症の人への対応 ・認知症の症状を知ることによって、どのようなケアが必要かを学ぶ。 ・認知症の人の行動と環境との関係について理解する。 ・病気の症状があっても、その人の尊厳を守る視点をもつことについて理解する。 【通信学習課題の内容】 ・認知症の中核症状 ・認知症の BPSD (行動・心理症状) ・認知症の人の環境整備 ・認知症の人への対応 ・実際のかかわり方の基本
④家族への支援	1	1	0	【講義内容】 1、家族への支援 2、認知症の人を介護する家族へのレスパイトケア
(合計時間数)	6	4	2	

使用する機器・備品等	学研オリジナルテキスト 1 巻 7 章 1 節～4 節
------------	-----------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(8) 障がいの理解 (3 時間)			
指導目標	障がいの概念と ICF、障がい福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①障がいの基礎的理解	0.5	0.5	0	【講義内容】 1、障がいの概念と ICF 2、障がい者福祉の基本理念 ・「障がいとはどういうものなのか」という考え方を学ぶ。 ・国際生活機能分類 (ICF) にもとづきながら、「障がい」の概念について理解する。 ・障がい者福祉の基本理念 (ノーマライゼーション, リハビリテーション, インクルージョン) について理解する。
②障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	2	1	1	【講義内容】 1、身体障がい 2、知的障がい 3、精神障がい 4、発達障がい 5、難病 ・障がいの原因となるおもな疾患を理解する。 ・障がいにもなう心理的影響, 障がいの受容を理解する。 ・障がいのある人の生活を理解し, 介護上の留意点について学ぶ。 【通信学習課題の内容】 ・身体障がい ・内部障がい ・精神障がいのある人の介護の留意点 ・発達障がいの特性と支援のポイント
③家族の心理、かかわり支援の理解	0.5	0.5	0	【講義内容】 1、家族の理解と障がいの受容支援 2、家族負担の軽減 ・家族支援は, 家族介護の肩代わり支援だけではないことを学ぶ。 ・日本に求められるレスパイトサービスの課題を学ぶ。
(合計時間数)	3	2	1	

使用する機器・備品等	学研オリジナルテキスト 1 巻 8 章 1 節～3 節
------------	-----------------------------

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術（12 時間）ア 基本知識の学習			
指導目標	・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実施できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①介護の基本的な考え方	2	1	1	【講義内容】 1、理論に基づく介護 2、法的根拠に基づく介護 ・「介護」が理論的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。 ・「介護」が法的にどのような変遷をたどってきたのかについて理解する。 【通信学習課題の内容】 ・ I C F の視点に基づく生活支援
②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	4	2	2	【講義内容】 1、学習と記憶に関する基礎知識 2、感情と意欲に関する基礎知識 3、自己概念と生きがい 4、老化や障がいを受け入れる適応行動とその阻害要因 ・学習と記憶に関する基礎的な知識を理解する。 ・感情と意欲に関する基礎的な知識を理解する。 ・自己概念と生きがい、老化や障がいの受容に関する基礎的な知識を理解する。 【通信学習課題の内容】 ・学習のしくみ ・記憶のしくみ ・記憶の分類 ・感情のしくみ ・意欲のしくみ ・自己概念とライフステージ ・生きがいと QOL の視点 ・フラストレーション ・不適応状態を緩和する心理 ・適応機制（防衛機制）
③介護に関するからだのしくみの基礎的理解	6	3	3	【講義内容】 1、生命の維持・恒常のしくみ 2、人体の各部の名称と動きに関する 3、骨・関節・筋に関する基礎知識とボディメカニクスの活用 4、中枢神経と体性神経に関する基礎知識 5、自律神経と内部器官に関する基礎知識 ・生命の維持・恒常のしくみを理解する。 ・骨や関節など、からだの動きのメカニズムを理解する。 ・神経の種類と、そのはたらきを理解する。 ・眼や耳、心臓をはじめとするからだの器官のはたらきを理解する。 【通信学習課題の内容】 ・骨、関節、筋 ・ボディメカニクスの基本原理 ・中枢神経と末梢神経 ・体性神経と自律神経 ・感覚器と呼吸器 ・泌尿器、内分泌、生殖器 ・循環器、血管系、リンパ系 ・バイタルサイン

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術 (52 時間) イ 生活支援技術の講義・演習			
指導目標	・安全な介護サービスの提供方法等を理解し、基礎的な一部または全介助等の介護が実践できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自立を尊重し、持てる力を発揮してもらいながら、その人の在宅・地域等での生活を支える、介護技術や知識を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
④生活と家事	6	6	0	【講義内容】 1、生活と家事の理解 ① 自立生活を支える家事 ② 家事援助のポイント 2、家事援助に関する基礎的知識と生活支援 ① 調理 ② 洗濯 ③ そうじ・ごみ捨て ④ 衣服の補修・裁縫 ⑤ 衣服・寝具の衛生管理 ⑥ 買い物 ⑦ 家計管理
⑤快適な居住環境整備と介護	5	5	0	【講義内容】 1、快適な居住環境に関する基礎知識 ① 居住環境とは ② 安心で快適な生活の場づくり 2、高齢者・障がい者特有の居住環境整備と福祉用具の活用 ① 生活空間と介護 ② 住宅改修 ③ 福祉用具の活用
⑥整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	4	4	0	【講義内容】 1、整容に関する基礎知識 2、整容の支援技術 ① 洗面 ② 整髪 ③ ひげの手入れ ④ 爪の手入れ ⑤ 化粧 ⑥ 衣服の着脱 【演習内容】 ※講師 1 名体制で指導 1、上衣の着脱介助 (片麻痺/一部介助/座位) 2、下衣の着脱介助 (片麻痺/一部介助/座位) 3、上衣の着脱介助 (片麻痺/全介助/臥床) 4、下衣の着脱介助 (片麻痺/全介助/臥床)
⑦移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	10	10	0	【講義内容】 1、移動・移乗に関する基礎知識 2、移動・移乗に関する福祉用具とその活用方法 3、利用者・介助者にとって負担の少ない移動・移乗の支援 4、移動・移乗を阻害する要因の理解とその支援方法 5、移動と社会参加の留意点と支援 【演習内容】 ※講師 1 名体制で指導 1、体位変換／仰臥位から側臥位へ 2、体位変換／側臥位から端座位へ 3、体位変換／端座位から立位へ 4、肢体不自由者の杖歩行介助 (片麻痺/平地/階段) 5、視覚障がいのある人の歩行介助 6、車いすの点検 7、ベッドから車いすへの移乗介助 (片麻痺) 8、車いすからベッドへの移乗介助 (左片麻痺) 9、車いすの介助 (平地走行、段差、坂道)

⑧食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	6	6	0	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、食事にに関する基礎知識 2、食事環境の整備と食事に関連する用具の活用方法 3、楽しい食事を阻害する要因の理解と支援方法 4、食事と社会参加の留意点と支援 <p>【演習内容】 ※講師 1 名体制で指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、とろみの付け方 2、食事の介助（片麻痺/一部介助/座位・臥床） 3、視覚障がいのある人の食事介助（クロック・ポジション） 4、自助具の活用方法 5、口腔ケア
⑨入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、入浴・清潔保持に関連する基礎知識 2、入浴・清潔保持に関連する用具の活用方法 3、楽しい入浴を阻害する要因の理解と支援方法 <p>【演習内容】 ※講師 1 名体制で指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、入浴の介助・浴槽出入り（片麻痺/一部介助） 2、足浴の介助（座位） 3、全身清拭
⑩排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	7	7	0	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、排泄に関する基礎知識 2、排泄環境の整備と関連する用具の活用方法 3、爽快な排泄を阻害する要因の理解と支援方法 <p>【演習内容】 ※講師 1 名体制で指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ポータブルトイレの介助（片麻痺/一部介助） 2、紙おむつの交換（片麻痺/全介助）
⑪睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	4	4	0	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、睡眠に関する基礎知識 2、睡眠環境の整備と関連する用具の活用方法 3、快い睡眠を阻害する要因の理解と支援方法 <p>【演習内容】 ※講師 1 名体制で指導</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ベッドの使用方法和留意点 2、ベッドメイキング
⑫死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	3	3	0	<p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、終末期に関する基礎知識 2、生から死への過程 3、「死」に向き合うこころの理解 4、苦痛の少ない死への支援 <p>【演習内容】</p> <p>自らの終末期の希望と自分の大切な人の終末期を考える時間を取る（自分が終末期介護を受ける立場になった時、どのようにして欲しいか・して欲しくないか、また大切な人が終末期を迎える時、どうしたいか等）。</p>

科目番号・科目名	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術（11 時間）ウ 生活支援技術演習			
指導目標	・生活の各場面での介護について、事例を通じて、生活支援を提供する流れを理解し、技術を習得する。 ・利用者の心身の状況に合わせた介護を提供する視点を習得する。			
項目番号・項目名	時間数	項目番号・項目名	時間数	項目番号・項目名
⑬介護過程の基礎的理解	4	4	0	【講義内容】 1、介護過程の目的・意義・展開 ① 根拠に基づいた介護の実践 ② 介護過程の展開イメージ 2、介護過程とチームアプローチ ① チームアプローチにおける介護職の役割 【演習内容】 ※講師 1 名体制で指導 ICF に基づくアセスメント表を使用し、情報の整理やどこにどの情報を入れるか等、グループワークにて作成する。 出来上がったアセスメント表に基づいた介護計画を、介護計画書等を用いて展開することで、介護過程の展開を実体験し流れやポイントを理解させる。
⑭総合生活支援技術演習	7	7	0	【講義内容】 1、演習を行うにあたって 2、介護過程の振り返り 【演習内容】 ※講師 1 名体制で指導 1、「食べたくない」と訴える施設入所者の援助 2、できるだけ外に出たいと思っている利用者の援助 3、トイレでの排泄にこだわりを持つ利用者の援助事例上記 1～3 の事例（うち 1～2 事例）をもとに支援の検討、技術演習、実施後の評価までの一連の過程を行う。 グループ毎に改善点・課題を討議し、各グループ発表、最後に講師による講評を行い、理解を深める。
（合計時間数）	75	69	6	

使用する機器・備品等	車いす、杖、スライドボード、介助椅子、自助具、ガーグルベース、シャワーチェア、ベッド、おむつ、パッド、ポータブルトイレ、スライディングシート、マットレス、パジャマ、爪切り、ばけつ、介護ベッド、車いす、歩行補助杖、ポータブルトイレ、紙おむつ等 学研オリジナルテキスト 2 巻 1 章～3 章
------------	---

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を 0 にすることはできない。なお、通信時間数については別紙 3 に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30 分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

科目番号・科目名	(10) 振り返り (4時間)			
指導目標	研修の全課程を振り返り、習得した知識・技術について再確認し、継続的な研修が大切であることを理解する。			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学学習 時間数	うち 通信学習 時間数	講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
①振り返り	2	2	0	【講義内容】 1、研修を通じて学んだこと ① 研修を修了して感じたこと、考えたこと ② 学んだことを再確認する 【演習内容】 初任者研修全体を通して、新しく学んだこと・再確認できたこと、現在の自分に足りないこと（今後継続して学ぶべきこと）や、今後のキャリアについてグループディスカッションを行う。
②就業への備えと研修修了後における事例	2	2	0	【講義内容】 1、継続的な研修が大切 2、介護職のキャリアアップと介護職がめざす「介護」
(合計時間数)	4	4	0	

使用する機器・備品等	
------------	--

- ※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
- ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙3に定める時間以内とする。
- ※ 時間配分の下限は、30分単位とする。
- ※ 項目ごとに時間数を設定すること。
- ※ 実技演習を実施する場合は、実技内容・指導体制を記載すること。

(別添 2－6)

実技演習使用備品一覧表

	メーカー名、商品名、品番等	台数	購入・レンタル・その他の別	合計数
① ベッド	ミオレットⅢ2 モーター樹脂ボード 90 cm幅	2	購入・レンタル・その他 ()	3
	ミオレットⅢ3 モーター	1	購入・レンタル・その他 ()	
			購入・レンタル・その他 ()	
② 車いす	WAVIT シリーズ WA16-40S ソフトタイヤ仕様 濃紺チェック	1	購入・レンタル・その他 ()	3
	自走車いす ミキ BAL-R1	2	購入・レンタル・その他 ()	
			購入・レンタル・その他 ()	
③ポータブルトイレ等	(T1188)FX-30 S 標準便座アスプレーン /532-950	3	購入・レンタル・その他 ()	3
			購入・レンタル・その他 ()	
			購入・レンタル・その他 ()	
④簡易浴槽等	介護浴槽 湯ったへりⅡさくら TNN-AH ベッド用キャスター付	3	購入・レンタル・その他 ()	3
			購入・レンタル・その他 ()	
			購入・レンタル・その他 ()	
⑤その他の消耗備品等	済 ・ 未			

※①～④の備品については、概ね受講者 5～6 名に 1 台準備することが望ましいが、最大 8 名に 1 台の割合で準備すること。

※⑤については、演習使用物品等一覧（別紙 5）を参考とし、演習に必要な消耗品等を確実に事前準備する体制を整えること。体制が整っている場合は、⑤の欄の「済」に○をつけること。

(別添 2－7)

実習施設一覧表

	運営主体（法人名）	施設・事業種別	施設・事業所名	所在地
	(例) 社会福祉法人　〇〇会	介護老人福祉施設	△△荘	□□市□□1－1－1
1	株式会社 A-station	株式会社 A-station	阿倍野事務所	大阪府大阪市阿倍野区旭町 1-5-45
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				

修了評価の方法

評価基準作成者：DANG THI THUONG

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から「(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術」までとする。 <p>2 出題形式</p> <p>(I) 語群選択形式、(II) 五肢択一形式</p> <p>3 出題数</p> <p>(2) 介護における尊厳の保持・自立支援：4問</p> <p>(3) 介護の基本：4問</p> <p>(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携：6問</p> <p>(5) 介護におけるコミュニケーション技術：3問</p> <p>(6) 老化の理解：2問</p> <p>(7) 認知症の理解：5問</p> <p>(8) 障がいの理解：3問</p> <p>(9) ことごとからだのしくみと生活支援技術：23問</p> <p>(I) 0.4点×5肢×50問=100点 (II) 2点×50問=100点</p> <p>4 合否判定基準</p> <p>60%以上</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <ul style="list-style-type: none">結果発表後、直ちに1時間の補習のうえ再評価を行う。 <p>なお、再評価に係る合格基準は60点以上とする。</p> <p>補習料：1時間あたり4400円 再評価料4400円(税込)</p> <p>なお、再評価の結果、不合格であった者には再評価2回まで1時間の補習と再評価を行う。</p> <p>再評価料：1回あたり4400円(税込)</p>
------------	--

(別添2-10)

通信学習実施計画書（介護職員初任者研修課程）

1 講義を通信の方法によって行う地域

- ・大阪府全域、京都市、神戸市、奈良市及び和歌山県北部地域とする。

2 添削指導の方法

- ・自宅学習期間の質問方法

質問はメール及び対面によるものとする。

添削担当講師：別添カリキュラム参照

電話番号 06-6966-1500 （受付時間 午前9時～午後5時）

ファックス番号 06-6966-1885

メールアドレス jimu1@a-station.jp

〒540-0012 大阪府中央区谷町2-2-22NSビル4階

3 科目別通信学習時間

科目番号・科目名	通信学習時間	通信形式で実施 できる上限時間 (別紙3より)
(2) 介護における尊厳の保持・自立支援	2 時間	5 時間
(3) 介護の基本	3 時間	3 時間
(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携	5 時間	7.5 時間
(5) 介護におけるコミュニケーション技術	0 時間	3 時間
(6) 老化の理解	3 時間	3 時間
(7) 認知症の理解	2 時間	3 時間
(8) 障がいの理解	1 時間	1.5 時間
(9) こころとからだのしくみと生活支援技術	6 時間	12 時間

4 通信学習課題配布・提出標準日程

添削課題は3回分を初回の授業にて配布する。提出日は開始より10日後～20日の間にそれぞれ設けられる。(月により異なる)。

5 通信学習課題

① 課題種類数 1 種類

② 出題形式 五肢択一、記述式

出題数「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」 10問

- 「(3) 介護の基本」 12問
「(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携」 18問
「(6) 老化の理解」 6問
「(7) 認知症の理解」 8問
「(8) 障がいの理解」 5問
「(9) こころとからだのしくみと生活支援技術」 24問

6 評価基準

100点を満点としてA（90点以上）、B（89～80点）、C（79～70点）、D（69～60点）、E（60点未満）とし、D以上の評価の方が評価基準を満たすとする。

基準を満たさなかった場合は、再評価を実施するため、再度添削課題を配布する。

なお、再提出日は、配布されてから2日以内とする

7 通信添削業務受託事業者

(1) 自社で実施する。

(2) 委託先研修機関

法人名称	株式会社〇〇商事		
所在地	〒000-0000 大阪府中央区・・・		
連絡先	06-0000-000		
ホームページ	http://		
指定番号	大阪府知事指定 第〇〇号		
研修実績	研修実施期間	年 月 日～ 年 月 日	
	コース名		
	修了者数	名	
委託契約期間	年 月 日 から 年 月 日まで		

※委託期間は1事業年度内（4月1日から翌年3月31日までの間）とすること。

講師一覧表

講師氏名	担当 科目番号、科目名／項目番号、項目名	資格(取得年月)	修了評価 担当の有無
		略歴(経験年数)	
		現在の職業(経験年数)	
SUKMA PRABAYA	(1)職務の理解／全項目	介護福祉士(H26年4月)	有
	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	社会福祉法人健祥会 特別養護老人ホーム水明壮 ・介護業務(4年6ヶ月)	
	(3) 介護の基本／全項目	社会福祉法人健祥会	
	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携／全項目	特別養護老人ホーム笑顔 ・介護業務(4年11ヶ月)	
	(5) 介護におけるコミュニケーション技術／全項目	社会福祉法人緑風会	
	(6) 老化の理解／全項目	特別養護老人ホームイザベル ・介護業務(0年11ヶ月)	
	(7) 認知症の理解／全項目	登録支援機関勤務 ・取締役(4年4ヶ月)	
	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目		
	(10) 振り返り／全項目		
DANG THI THUONG	(1)職務の理解／全項目	介護福祉士(H30年4月)	有
	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	老人保健施設旭陽 ・介護業務(1ヵ月) 特別養護老人ホーム桑の実園 ・介護業務(3ヵ月)	
	(3) 介護の基本／全項目	小規模多機能型居宅介護 鮎水 ・介護業務(4ヵ月)	
	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携／全項目	老人保健施設旭陽 ・介護業務(2ヵ月)	
	(5) 介護におけるコミュニケーション技術／全項目	特別養護老人ホーム池袋 桑の実園 ・介護業務(5ヵ月)	
	(6) 老化の理解／全項目	小規模多機能型居宅介護鮎水 ・介護業務(2年3ヵ月)	
	(7) 認知症の理解／全項目	ヘルパーステーションユ ニゾンはなぞの ・介護業務(1ヵ月)	
	(9) こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目	ヘルパーステーションビ スケット ・介護業務(5ヵ月)	
	(10) 振り返り／全項目	デイステーションcome in西 石切・管理者兼生活相談員・ 介護業務(2年2ヶ月)	
		デイステーションcome i n西石切 ・介護業務(2年2ヵ月)	
久下 伸夫	(1)職務の理解／全項目	介護福祉士(R2年4月)	有
	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	医療法人神明会 ラ・アケソニア グループホーム ・高齢者認知症 介護員(5か月)	
	(3) 介護の基本／全項目	株式会社アイ・サポート アイビ ーケアセンター 居宅介護 ・高齢者・障害者 訪問介護員(3 年9か月)	
	(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携／全項目		
	(5) 介護におけるコミュニケーション技術／全項目		
	(6) 老化の理解／全項目		

	(7) 認知症の理解／全項目 (8) 障がいの理解／全項目 (9) こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10) 振り返り／全項目	エルケア株式会社 箕面・豊中ケアセンター 居宅介護 ・高齢者・障害者 訪問介護員、サービス提供責任者(4年11か月) エルケア株式会社 箕面ケアセンター 居宅介護 ・高齢者・障害者 訪問介護(4年11か月)	
名富 千花	(6) 老化の理解／全項目 (7) 認知症の理解／全項目	看護師(H17年4月) 医療法人健康会京都南病院(呼吸器・循環器内科) ・看護師(4年4ヶ月) 医療法人行岡医学研究会行岡病院(消化器外科) ・看護師(1年8ヶ月) 医療法人朋愛会朋愛病院(回復期リハビリ病棟) ・看護師(2年0ヶ月) 医療法人篤友会関西リハビリテーション病院 ・看護師(7年0ヶ月) 医療法人同仁会松崎病院(地域包括ケア病棟) ・看護師(3年3ヶ月) 老人ホーム勤務 ・夜勤専従(1年8か月)	無
伊與木 貴美	(1)職務の理解／全項目 (2) 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 (3) 介護の基本／全項目 (4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携／全項目 (5) 介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6) 老化の理解／全項目 (7) 認知症の理解／全項目 (9) こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目 (10) 振り返り／全項目	介護福祉士(R1年10月) 株式会社 メッセージグループホーム ・介護職員施設長(8年7か月) 株式会社 こばやしメディカルサポート 訪問介護 ・介護業務, 訪問介護管理者(5年6か月) エールシステムズ株式会社 居宅介護支援 ・統括管理者、サービス提供責任者、介護業務(2年 9ヵ月) 医療法人永仁会 訪問介護 ・訪問介護管理者、サービス提供責任者、介護業務(4年 11ヵ月) 株式会社里葉会 障害福祉住宅型ケアホーム ・障害福祉住宅型ケアホーム管理者指導員、介護業務(1年1ヵ月) 合同会社ジェイスリー障がい者住宅型ケアホーム・介護業務(2年0ヶ月)	有
古野 哲司	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援／ ③人権啓発に係る基礎知識	人権擁護士(R4年3月) 人権啓発講師(4年10ヶ月)	無

		人権啓発講師（4年10ヶ月）	
中島 幸子	(6) 老化の理解／全項目 (7) 認知症の理解／全項目	看護師（H17年3月） 独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター ・看護師（2年0か月） 耳原総合病院 ・看護師（1年3か月） 市立堺病院 ・看護師（3年9か月） JR大阪鉄道病院 ・看護師（1年3か月） 独立行政法人労働者健康安全機構大阪労災看護専門学校 ・看護教員（10年3ヶ月） 株式会社 A-station ・講師（0年0ヵ月）	無
安藤 恵	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 (3) 介護の基本／全項目 (4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携／全項目 (5) 介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6) 老化の理解／全項目 (7) 認知症の理解／全項目 (8) 障がいの理解／全項目 (9) こころとからだのしくみと生活支援技術／⑤除く全項目	看護師(S61年7月) 新仁会 奈良春日病院 内科病棟 ・看護師（ 3年 5ヵ月） 弘心会 小杉クリニック(アルコール依存症専門外来) ・看護師（6年3ヵ月） 信貴山病院ハローケア訪問看護ステーション学園前 ・訪問看護師（ 5年 4 ヲ月） 奈良県立医科大学付属病院精神科デイケア ・看護師（ 3 年 1ヵ月） 平和会 吉田病院 精神科外来 ・看護師（5年 0ヵ月） 阪奈中央看護専門学校 ・精神看護学概論 在宅看護論講師（2年 8ヵ月） 奈良介護福祉中央学院・非常勤講師（ 1 年10ヶ月） 奈良介護福祉中央学院・非常勤講師（1年10ヶ月）	有
宮地 公代	(2) 介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護 (3) 介護の基本／全項目 (4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携／全項目 (5) 介護におけるコミュニケーション技術／全項目 (6) 老化の理解／全項目 (7) 認知症の理解／全項目 (8) 障がいの理解／全項目 (9) こころとからだのしくみと生活支援技術／⑤除く全項目	看護師(S55年5月) 大阪大学医学部附属病院 ・看護師 （8年 0ヵ月） 香里ヶ丘看護専門学校 ・看護講師 （4年 0ヵ月） 香里ヶ丘看護専門学校 ・非常勤看護講師 （8年 0ヵ月） 有限会社うえいくあっぷ 訪問看護・居宅介護支援 ・代表・訪問看護員（15年 0ヵ月） 愛の家うえいくあっぷ訪問介護・居宅介護支援	有

		<div>・介護支援専門員（3年3ヵ月）</div> <div>介護老人保健施設 庵みやこじま</div> <div>・介護支援専門員（0年5ヵ月）</div> <div>旭区西部地域包括支援センター</div> <div>・看護師（4年1ヵ月）</div>	
堀口 英子	<div>(1)職務の理解／全項目</div> <div>(2) 介護における尊厳の保持・自立支援 <div>①人権と尊厳を支える介護</div> <div>②自立に向けた介護</div> </div> <div>(3) 介護の基本／全項目</div> <div>(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携／全項目</div> <div>(5) 介護におけるコミュニケーション技術／全項目</div> <div>(6) 老化の理解／全項目</div> <div>(7) 認知症の理解／全項目</div> <div>(9) こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目</div> <div>(10) 振り返り／全項目</div>	<div>介護福祉士(H14年4月)</div> <div>特別養護老人ホーム平城園</div> <div>・高齢者介護員（2年9ヵ月）</div> <div>老人保健施設ピュアネス藍</div> <div>・高齢者介護員（2年0ヵ月）</div> <div>医療法人田北病院</div> <div>・高齢者介護員（4年6ヵ月）</div> <div>(株)まほろばケアセンター</div> <div>・高齢者訪問介護員（0年8ヵ月）</div> <div>ピースクルーズ(株)</div> <div>住宅型有料老人ホーム</div> <div>・高齢者介護員・サービス提供責任者（1年0ヵ月）</div> <div>アースサポート(株)訪問介護事業所</div> <div>・高齢者訪問介護員・サービス提供責任者（2年3ヵ月）</div> <div>(株)コーギーケア</div> <div>サービス付き有料老人ホーム</div> <div>・高齢者訪問介護員（1年11ヵ月）</div> <div>グループホームカノンの扉</div> <div>・高齢者介護員（4年5ヵ月）</div> <div>ウェルコンサル(株)</div> <div>グループホーム</div> <div>・高齢者介護員（5年3ヵ月）</div> <div>キャリアウイングス(株)</div> <div>・初任者研修講師（0年7ヵ月）</div>	有
金山 眞弓	<div>2) 介護における尊厳の保持・自立支援 <div>①人権と尊厳を支える介護</div> <div>②自立に向けた介護</div> </div> <div>(3) 介護の基本／全項目</div> <div>(4) 介護・福祉サービスの理解と医療の連携／全項目</div> <div>(5) 介護におけるコミュニケーション技術／全項目</div> <div>(6) 老化の理解／全項目</div> <div>(7) 認知症の理解／全項目</div>	<div>看護師(H10年4月)</div> <div>淀川キリスト教病院</div> <div>・医療事務（8年0ヵ月）</div> <div>愛染橋病院</div> <div>・外科病棟看護学生業務（5年0ヵ月）</div> <div>健康保険組合連合会</div> <div>大阪中央病院</div>	有

	(8) 障がいの理解／全項目 (9) こころとからだのしくみと生活支援技術／⑤除く全項目	<div>・看護師（ 27年8ヵ月） 障害福祉・介護・医療的ケア オールケア㈱</div> <div>・医療的ケア看護師（5年4ヵ月） 障害福祉・介護・医療的ケア オールケア㈱</div> <div>・非常勤講師（0年5ヵ月）</div> <div>健康保険組合連合会 大阪中央病院</div> <div>・看護師・センター看護管理（27年8ヵ月）</div>	
--	---	--	--

記載例

(別添 2－3)

年 月 日現在

講師一覧表

講師氏名	担当 科目番号、科目名／項目番号、項目名	資格(取得年月日)	修了評価 担当の有無
		略歴(経験年数)	
		現在の職業(経験年数)	
大阪 太郎	(1)職務の理解／全項目 (3)介護の基本／②介護職の職業倫理	社会福祉士(H14/3) 介護福祉士(H24/3)	無
		児童養護施設 ・相談員(8年5ヶ月)	
		指定通所介護 ・介護職員(1年)	
		重度訪問介護 ・訪問介護員(1年3ヶ月)	
浪速 花子	(1)職務の理解／全項目	介護福祉士(H15/3)	有
	(2)介護における尊厳の保持・自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護		
	(3)介護の基本／全項目		
	(4)介護・福祉サービスの理解と医療の連携／全項目	老人短期入所施設 ・介護従業者(10年3か月)	
	(5)介護におけるコミュニケーション技術／全項目		
	(6)老化の理解／全項目		
	(7)認知症の理解 ②医学的側面から見た認知症に基礎と健康管理 ③認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	老人ホーム ・支援員(6ヶ月)	
	(9)こころとからだのしくみと生活支援技術／全項目		
	(10)振り返り／全項目		

講師履歴書に記載している現在の職業、担当科目に関連する資格・免許及び職歴を記載してください。

そして、このまま開示情報として自らのホームページで公表してください。

修了評価者としての資格と実務経験を有し、そのうえで、修了評価者として業務を担当する者について「有」と記載すること。

講師履歴書に記載している現在の職業、担当科目に関連する資格・免許及び職歴を記載してください。

そして、このまま開示情報として自らのホームページで公表してください。

修了評価者としての資格と実務経験を有し、そのうえで、修了評価者として業務を担当する者について「有」と記載すること。

修了評価者としての資格を満たしていても、修了評価の業務を担当しない場合は「無」としてください。また、資格を有していない者も「無」としてください。

研修スケジュール（介護職員初任者研修課程）（通信・通学）

コース名 株式会社 A-station

介護職員初任者研修講座 1 月コース 定員 20 名

年 月 日 レポート提出期限	科目番号、項目番号、科目名、 項目名	講師氏名	時 間		実習実施の 有無 通信課題の 配布
R8 年 1 月 5 日(月)	開講式・オリエンテーション	真央・名富	13:00～15:30	2.5h	通信課題 1.2.3 配布)
R8 年 1 月 6 日(火)	(1)① 多様なサービスの理解 (1)② 介護職の仕事内容や働く 現場の理解	堀口 堀口	9:00～10:00 10:00～16:00	1h 5h	
R8 年 1 月 7 日(水)	(2)① 人権と尊厳を支える介護 (2)② 自立に向けた介護 (2)③ 人権啓発に係る基礎知識	伊與木 伊與木 古野	9:00～12:00 13:00～15:00 15:00～17:00	3h 2h 2h	
R8 年 1 月 8 日(木)	(3)① 介護職の役割、専門性と 多職種との連携 (3)② 介護職の職業倫理 (3)③ 介護における安全の確保と リスクマネジメント (3)④ 介護職の安全 (4)① 介護保険制度 (4)② 医療との連携と リハビリテーション (4)③ 障がい者総合支援制度お よびその他制度	宮地 宮地 宮地 宮地 金山 金山 金山	9:00～10:00 10:00～10:30 10:30～11:00 11:00～12:00 13:00～15:00 15:00～16:00 16:00～17:00	1h 0.5h 0.5h 1h 2h 1h 1h	
R8 年 1 月 9 日(金)	(6)① 老化に伴うこころとからだの 変化と日常 (6)② 高齢者と健康 (7)① 認知症を取り巻く状況 (7)② 医学的側面からみた 認知症の基礎と健康管理 (7)③ 認知症に伴うこころとからだ の変化と日常生活 (7)④ 家族への支援	名富 名富 中島 中島 中島 中島	9:00～10:30 10:30～12:00 13:00～14:00 14:00～15:00 15:00～16:00 16:00～17:00	1.5h 1.5h 1h 1h 1h 1h	
R8 年 1 月 10 日(土)	(5)① 介護におけるコミュニケー ション (5)② 介護におけるチームのコミ ュニケーション	宮地 宮地	9:00～14:00 14:00～16:00	4h 2h	

R8 年 1 月 12 日(月)	(8)①	障がいの基礎的理解	安藤	9:00～9:30	0.5h	
	(8)②	障がいの医学的側面、生活障がい、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	安藤	9:30～10:30	1h	
	(8)③	家族の心理、かかわり支援の理解	安藤	10:30～11:00	0.5h	
	(9)①	介護の基本的な考え方		11:00～12:00	1h	
	(9)②	介護に関するところのしくみの基礎的理解	安藤	13:00～15:00	2h	
	(9)③	介護に関するからだのしくみの基礎的理解	安藤	15:00～18:00	3h	
R8 年 1 月 13 日(火)	(9)④	生活と家事	伊與木	9:00～16:00	6h	
R8 年 1 月 14 日(水)	(9)⑦	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	久下(1/2)	9:00～17:00	7h	
R8 年 1 月 15 日(木)	(9)⑥	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	堀口	9:00～14:00	4h	
R8 年 1 月 16 日(金)	(9)⑤	快適な居住環境整備と介護	堀口	9:00～15:00	5h	
レポート 1(科目 2～4) 提出期限						
R8 年 1 月 17 日(土)	(9)⑦	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(2)	久下(2/2)	9:00～12:00	3h	
	(9)⑪	睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	久下	13:00～17:00	4h	
R8 年 1 月 19 日(月)	(9)⑧	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	久下	9:00～16:00	6h	
レポート 2(科目 6～8) 提出期限						
R8 年 1 月 20 日(火)	(9)⑨	入浴・清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	伊與木	9:00～17:00	7h	
R8 年 1 月 21 日(水)	(9)⑩	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	伊與木	9:00～17:00	7h	
R8 年 1 月 22 日(木)	(9)⑫	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護	金山	9:00～12:00	3h	
	(9)⑬	介護過程の基礎的理解	金山	13:00～17:00	4h	

R8 年 1 月 23 日(金) レポート 3(科目 9)提出 期限	(9)⑭	総合生活支援技術演習	堀口	9:00～17:00	7h	
R8 年 1 月 24 日(土)	(10)① (10)②	振り返り 就業への備えと研修修了 後における実例 予備日(補講等)	久下 久下 久下・安藤・伊 與木	9:00～11:00 11:00～13:00 14:00～17:00	2h 2h 3h	
R8 年 1 月 26 日(月)		修了評価筆記試験 試験結果集計・採点・合否 発表 (不合格者補習) (再評価) (不合格者再補習) (再再評価)	安藤・伊與木 安藤・伊與木	9:00～10:00 10:00～12:00 13:00～14:00 14:00～15:00 15:00～16:00 16:00～17:00	1h 2h 1h 1h 1h 1h	
R8 年 1 月 27 日(火)		閉講式	真央・名富	9:00～11:00	2h	

※大阪府に実績報告がなされるまで、自らのホームページで情報開示を継続しておくこと。

※研修開始時には、開講式・オリエンテーションを実施すること。

※「(1)職務の理解」は研修開始直後の科目として実施し、「(10)振り返り」は修了評価前の最終科目として実施すること。ただし、「(2)③人権啓発に係る基礎知識」は除く。

※通信学習の方法による場合は、通信課題の配布とその提出期限を記載すること。